

# 各区だより

## 名東区 めいめいどう

名東区で開講されている  
教養講座のご案内



を得ました。

第3日目は、課外講座で、今年の名古屋城本丸御殿の見学です。各クラブから171名の参加者があり、2班に分けて現地集合、現地解散、雨天決行で実施。当日は受付場所への案内。入場割引

名古屋市16区の中で、名東区だけが行っている第47回目となる名東福祉大学の教養講座をご紹介します。

社会部は部長を含め15名です。毎年演題を決め、会場の日程が決まりますと講師依頼等は部員が担当します。

講座は5日間で、1日2時限、2講座行います。受講者は、今年度207名と大変人気の高い講座です。

第1日目、1時限の講演はパーソナリティ・書家の矢野きよ実様「一人じゃないよね」。2時限は、愛知県観光振興課の渡邊亨介様「愛知の歴史を活かした観光振興」。コロナ禍の中、受講率は87・5%と大変好評でした。

第2日目、1時限は愛知東邦大学助教の中野匡隆様「元気に生きるための運動とは?」。2時限は西川流長壽乃会の西川長秀様「日本舞踊を楽しみましょう」。受講率は77・9%の好評



に必要な敬老手帳等の所持確認。団体扱いのため、入場門への誘導等忙しい1日でした。

部員手作りの解説文は、カラー写真13枚入りの説明付き。楽しく見学できました。

第4日目と5日目の講座は残っていますが、次年度もよい講座が開講できますよう部員一同頑張ります。(松原 良雄)

## 天白区 びてんぱく

旅行、趣味など通じての  
仲間づくり



雪が舞い、レトロな街の散策にも酔いしれたものです。

「硫黄匂う湯畑」は「草津温泉」の代表処。「湯もみ館」では若い女性たちが頭にタオル、赤い腰巻と紺の上衣を纏い、船の櫓を漕ぐような湯もみ所作・姿に見とれてしまいました。宿で体を癒した後の宴会では、飲んで、カラオケ、踊り、コーラスと、皆で大いに心が打ち解けたものです。

私たち野並シニアクラブ連合会の一部会員は地域同好会に入り、週2回、グラウンド・ゴルフを楽しんでおります。反面、シニアクラブ自体の活動はコロナ禍において、あるべき会員交流ができていないのが実情です。本稿ではコロナ前の懐かしい旅の出来事を述べ、今後のシニアクラブ活動への決意表明をしておこうと思います。

思い返せば令和元年11月、コロナ流行直前の草津温泉旅行は本当に楽しいものでした。黙食・黙飲なし、対面の車中カラオケとゲームあり。アルコールも気兼ねなく飲めますのでバスの中は終始、楽しいものでした。初冬の「軽井沢」では小



日本3大名湯制覇として下呂、有馬旅行をしたいと思えます。前段、グラウンド・ゴルフにも地域健康づくり活動として参加を促し、満面の笑顔が会員に戻ることを祈念いたします。(景山 光浩)

らコロナウイルス感染症の水際対策が大幅に緩和されました。これを契機に、我が野並シニアクラブ連合会はこれまでの活動制限から正常なクラブ運営に戻し、地域清掃然り、スマホ講習会、社交ダンス等々再開します。